



# 全産業における景況感は マイナス9.6と前回よりやや悪化 依然として仕入単価上昇が続き、採算厳しく

令和5年10～12月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

令和5年10～12月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率53.0%

## 【主要な表現について】

○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○DI値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

### 管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：全産業での業況は、DI値▲9.6で前回(2023年7月～9月)より7.9ポイント減少しました。卸売業が前回▲8.3ポイントから今回▲28.6ポイントに減少。小売業も▲4.5から今回▲29.4ポイントに減少しました。

全産業売上高の推移：前回14.2ポイント(2023年7月～9月)から0ポイント減少しました。

特に小売業が▲41.2ポイントとなり減少傾向を示しました。

全産業資金繰りの動向：前回0ポイント(2023年7月～9月)から▲4.8ポイント減少しました。

全産業足踏み状態を示しました。

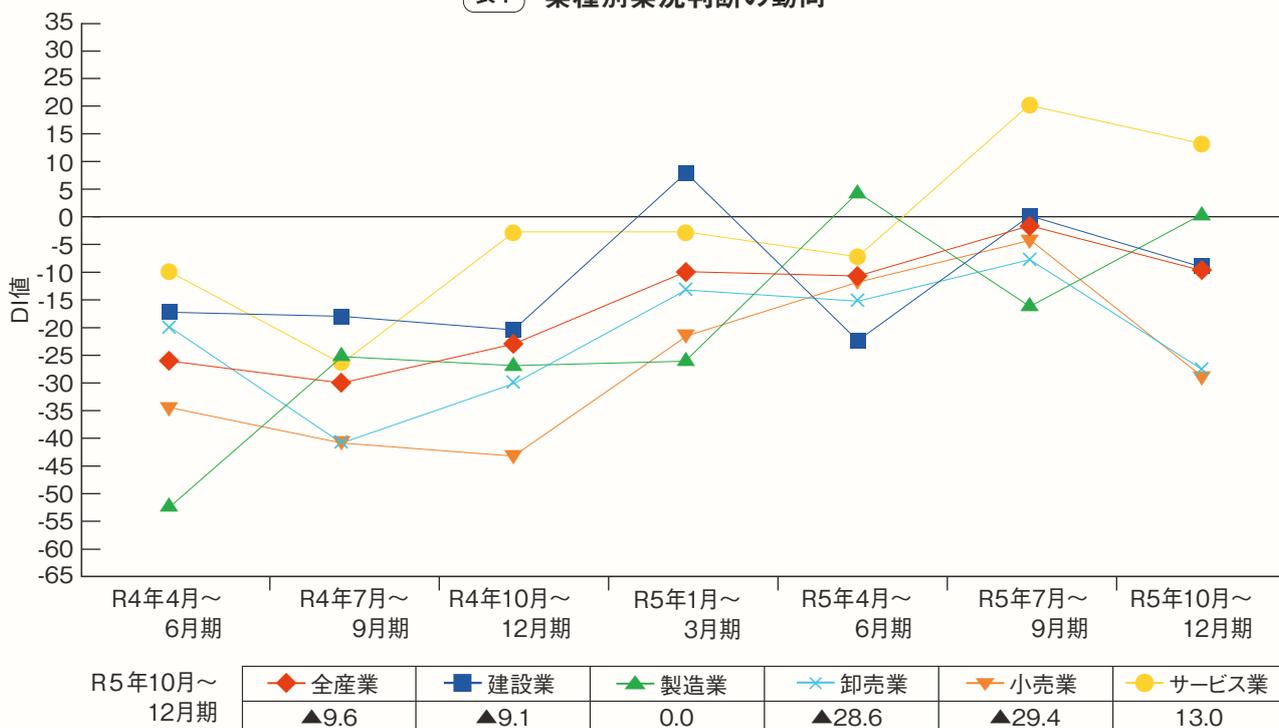
全産業採算の動向：前回▲15.1ポイント(2023年7月～9月)から0.7ポイント増加しました。

サービス業が1.4ポイントで改善傾向を示しました。

全産業雇用人員の動向：前回2.5ポイント(2023年7月～9月)から2.5ポイント減少しました。

特に建設業で人手不足感が増えています。

表1 業種別業況判断の動向



問合せ先 藤枝商工会議所 経営支援課 TEL: 054-641-2000